



日 本自動車会議所は4月6日、7日の両日、東京・新宿区の「新宿駅西口広場イベントコーナー」で、交通安全の大切さやルールを楽しく学べる体験型交通安全啓発イベント「交通安全。アクション2019 新宿」を開催した。開催会場は、多くの人々が訪れるターミナル駅「新宿」に近いこともあり、家族連れなど大勢の人で賑わった。来場者は2日間で7,000人（主催者集計）に上り、盛況のうちに幕を閉じた。

「アクション2019 新宿」は警視庁新宿警察署との共同開催で、内閣府、国土交通省、警察庁、警視庁交通部、東京都が後援し、当会議所の会員団体をはじめ開催の趣旨に賛同する47の団体・企業などが参画。「高齢者や家族を対象に体験を通じて交通社会のルールや安全行動の大切さを啓発する」をテーマとし、交通安全の大切さやルールを楽しく学べる14の体験型ブースプログラムを用意したほか、交通安全ビンゴ大会や、交通安全を楽しく学ぶアトラクション、落語、ステージショーも行われ、小さな子どもから高齢者まで多くの来場者がイベントを楽しんだ。

初日には、開催に先立ち、主催者を代表して当会議所の山岡正博専務理事が挨拶し、「昨年の交通事故死亡者数は3,532人と、警察庁が保有する昭和23年以降の統計で最少となりました。しかし、3,500人以上の尊い命が亡くなっていることも事実です。今回のアクションを通じて、1件でも交通事故を減らしていきたいと思っています。来場者の皆さんの

心に交通安全の意識を刻んでいただけるよう、平成最後のアクションを成功させましょう」と呼びかけた。

続いて新宿警察署によるオープニングセレモニーが行われ、挨拶に立った上條隆利署長は「地域の皆さまによる通学路での小学生の保護・安全活動などが実を結び、新宿署管内での交通死亡事故は3年3カ月ゼロを更新しています。しかし、昨日までの東京都内の交通事故状況を見ると、重傷者が前年に比べて48件も増えており、油断できない状況にあります」との認識を示し、改めて安全対策に全力を挙げていくことを強調した。

この後、来賓挨拶や新宿交通少年団による交通安全クイズなどに引き続き、1日警察署長に委嘱された女優・歌手の小川真奈さんと、新世代太鼓ユニット「Queen Beat」の2人をはじめ、キャンパスクイーンや新宿交通少年団の皆さんが「新宿から世界へ交通安全の輪を広げます。交通事故のない街になるよう努力することを、ここに誓います」と交通安全宣言をしてイベントが始まった。

「アクション2019 新宿」では、ブース・ステージプログラムのほか、各ブースをまわってスタンプを5個以上集めた参加者に、協力団体・企業のノベルティー・グッズなどの景品をプレゼントする「スタンプラリー」も実施。多くの高齢者に交じって子どもたちが一生懸命にブースを回る姿も見られ、終日来場者で賑わった。

「交通安全。アクション2019 新宿」 会場風景



1日警察署長に委嘱された女優・歌手の小川真奈さんと、
新世代太鼓ユニット「Queen Beat」の2人



子どもからお年寄りまで大勢の人が楽しんだ
「交通安全ビンゴ大会」



話芸で来場者の心をつかむ
落語家の古今亭文菊さん



歌とダンスで来場者を魅了した
華やかなステージショー



タフィーさんの司会・進行で楽しみながら交通安全を学べる
「交通安全〇×クイズ」



ピーボくんととの記念撮影会は
いつも親子の笑顔でいっぱい



子どもたちが駆け寄ってくるマスコット
「てんけんくん」



総合受付
スタンプラリー スタート&ゴール



白バイ搭乗体験
(警視庁・警視庁新宿警察署)



歩行者シミュレータ/ハイバースムーズ東京
(東京都民安全推進本部)



高齢者交通安全啓発コーナー
(北里大学・共同ブース)



首都高安全広報隊
(首都高速道路・首都高速道路厚生会)



電動車いすの安全利用
(電動車いす安全普及協会)



もの忘れチェック体験
(全日本指定自動車教習所協会連合会・高齢者安全運転支援研究会)



ライディングシミュレータ&ゲンチャレ
(日本二輪車普及安全協会)



てんけんくんぬりえ体験コーナー
(日本自動車整備振興会連合会)



俊敏性測定「あなたの俊敏性は何歳？」
(イーティエフ)



自動車運転適性診断「ナスバネット」
(自動車事故対策機構)



反射材効果体験
(日本自動車連盟/JAF)



エコドライブで交通安全
(東京都トラック協会)



交通安全約束手形
(共同ブース)



飲酒疑似体験ウォーキング
(共同ブース)



飲酒運転根絶パネルコーナー
(東京都交通安全協会・エフエム大阪)